

『多文化共生社会に対応し、現代社会に求められる質の高い保育者』を育成するために、本学には特色のあるさまざまな学びがあります。

「単位制度」について

大学では、授業科目ごとに単位が定められ、卒業するために必要な単位を取得する制度をとっています。単位とは、学修量をはかる基準で、1単位は45時間の学修量を必要としています。幼児教育学科では、各年次と学期に配当された必修科目と選択科目の中から、卒業、幼稚園教諭一種免許状取得、保育士資格取得のそれぞれに必要な科目を履修していきます。

卒業するのに必要な単位
124単位以上

幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位
61単位以上

保育士資格取得に必要な単位
87単位以上

	1年		2年		3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
総合基礎領域	<p>宝仙の歴史 現代の倫理と宗教 現代女性論 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 健康スポーツ実技 英語(初級) 情報処理演習(基礎)</p>	<p>宝仙の教育 人間形成論 日本国憲法 異文化理解 暮らしの中のコンピュータ 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 健康スポーツ理論 英語(中級) 情報処理演習(応用) 音楽実技I</p>	<p>仏教概論(歴史) 現代の倫理と宗教 現代女性論 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 英語コミュニケーション(初級) マルチメディア演習 基礎韓国語(入門) 音楽実技II</p>	<p>人間形成論 仏教概論(思想) 日本国憲法 異文化理解 暮らしの中のコンピュータ 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 英語コミュニケーション(中級) 基礎韓国語(初級)</p>	<p>現代の倫理と宗教 現代女性論 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 実践英語(初級) マルチメディア演習 プレゼンテーション演習 韓国語コミュニケーション(入門)</p>	<p>人間形成論 日本国憲法 異文化理解 暮らしの中のコンピュータ 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 実践英語(上級) 韓国語コミュニケーション(初級)</p>	<p>現代の倫理と宗教 現代女性論 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 実践英語(初級) プレゼンテーション演習 韓国語コミュニケーション(入門) 身体遊び実践論 こども食育実践論</p>	<p>人間形成論 日本国憲法 異文化理解 暮らしの中のコンピュータ 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 実践英語(上級) 韓国語コミュニケーション(初級) 身体遊び実践論 こども食育実践論</p>
ゼミナール	基礎ゼミ 学問への誘い		基礎ゼミ 学問に触れる		専門研究ゼミI 講読と発表		専門研究ゼミII 調査と発表	
詳しくは P32へ			保育実践演習 保育実践演習I 保育実践演習II		講読と発表 専門研究ゼミI 調査と発表		卒業研究の基礎 専門研究ゼミII 卒業研究の完成	
「保育の現場を知る」 「保育実習」 「教育実習」 詳しくは P24へ	保育の現場を知るI 体験学習I(幼稚園)	保育の現場を知るII 体験学習II(施設)	保育の現場を知るIII 体験学習III(保育所)	保育の現場を知るIV 体験学習IV(幼稚園)	保育実習I(保育所) 保育実習I(保育所)事前事後指導 保育実習I(施設) 保育実習I(施設)事前事後指導	保育実習II(保育所) 保育実習II(保育所)事前事後指導 保育実習III(施設) 保育実習III(施設)事前事後指導	教育実習 教育実習事前事後指導	
詳しくは P30へ	音楽 音楽と表現I		造形と表現	音楽と表現II	歌遊び	リズムック、音楽遊び	歌遊び	リズムック
表現系科目	音楽 音楽と表現I		造形と表現	音楽と表現II	歌遊び	リズムック、音楽遊び	歌遊び	リズムック
造形						保育内容の指導法II		
身体	身体と表現							
教育原理 発達心理学 ことばとコミュニケーション 社会福祉 保育原理(意義と本質) こどもの食と栄養(健康と食生活)	教育制度論 保育内容(言葉) 保育内容総論 こども家庭福祉 保育原理(保育ニーズの多様化) こどもの食と栄養(発達と食生活) 社会的養護I	教職・保育職概論 乳児保育I 社会的養護II 障害児保育演習(理念と援助) こどもの保健 こどもの健康と安全 子育て支援論	保育内容(表現) 保育カリキュラム論 保育内容(健康) 保育相談支援 こどもの理解と援助 家庭支援論 乳児保育II 障害児保育演習(現状と課題)	特別支援教育概論 保育内容(環境) 保育内容(人間関係) 保育方法論 保育内容の指導法I こども理解と教育相談 子育て支援フィールドワーク(基礎) 地域社会とこども家庭福祉 絵本と児童文学 障害児の発達と運動遊び	こども英語指導法 子育て支援フィールドワーク(応用) 子育て支援カウンセリング	子育て支援フィールドワーク(基礎) 地域社会とこども家庭福祉 絵本と児童文学 障害児の発達と運動遊び	こども英語指導法 子育て支援フィールドワーク(応用) 子育て支援カウンセリング 児童文化 保育・教職実践演習(幼) 在宅保育論	
課外プログラム					オーストラリア幼児教育・保育体験及び英語研修 詳しくは P28へ			

カリキュラム・ポリシー

- 「総合基礎領域」は、建学の精神を理解し、大学生として必要とされる基礎的な技法、情報化社会に対応できる能力、さまざまな問題を考えるための教養、体験や経験に基づく知恵などを身につけるための科目のまとまりです。
- 「総合専門領域」は、質の高い保育者として必要な知識・技法を幅広く身につけるために設定した幼児教育基礎科目群、幼児教育応用科目群、幼児教育関連科目群、および幼児教育発展科目群から構成された科目のまとまりです。
- 幼児教育基礎科目群は、人としてこどもの教育・保育に関わるすべての大人が備えるべき素養を身につける科目のまとまりです。
- 幼児教育応用科目群は、幼稚園教諭という専門職業成に必要な知識と技法の修得に主眼をおいた科目のまとまりです。
- 幼児教育発展科目群は、幼児教育基礎科目群、幼児教育応用科目群および幼児教育関連科目群における学習内容を体験的に検証し、実践的能力を身につけるための科目のまとまりです。
- 幼児教育関連科目群は、保育士という専門職業成に必要な知識と技法の修得に主眼をおいた科目のまとまりです。

Message

豊かな教養と専門性を兼ね備えた保育者に

こども教育学部長 石川悦子 教授

本学のカリキュラムは、建学の精神やカリキュラム・ポリシーに基づき、質の高い幼児教育・保育・児童福祉に携わる専門職の養成を大きな柱とするともに、多文化共生社会に対応し現代社会に求められる高次元の倫理観と豊かな教養、幅広い専門知識を持った人材育成を目的に編成されています。

本学の特色である1年次からのゼミとアドバイザー制度、少人数制教育の利点を活かし、学生一人ひとりと向き合い、入学から卒業・就職に至るまで丁寧に教育します。授業は「総合基礎領域」と「総合専門領域」から構成され、その中には実習等の体験学習、独自の表現教育も多く盛り込まれています。

